

# 第6次高浜市総合計画 中期基本計画

## 施策課題カルテ

目標

(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります

〔とりまとめG〕 都市政策部 都市整備グループ

〔担当G〕 都市政策部 上下水道グループ

市民総合窓口センター 市民生活グループ

# I. 目標と目標の達成状況

1. 目指す姿と目安となる指標						
目標	<b>(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります</b>					
目標達成に向けての考え方	住み続けたいと思える快適なまちをつくるために、地域の特性に応じた秩序ある土地利用を推進し、住環境、ライフライン、道路、景観・憩いの場など、都市を形成するそれぞれの要素を調和（ハーモニー）させていきます。					
目標が達成された姿	① 都市空間の調和が保たれ、快適に暮らせる住環境やライフラインの整備が進んでいます。 ② 誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。 ③ 公園・緑地などが、やすらぎや愛着・誇りが感じられる憩いの場として親しまれ、笑顔と賑わいであふれています。					
指標の状況	みんなで目指すまちづくり指標	現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)
	1) 暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合	66.5%	63.7%	62.7%		72%
	2) 公園・緑地、街路樹や水辺空間づくりに参加したことがある人の割合	27.0%	24.1%	27.4%		32%
2. 市民意識調査結果						
設問	現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	
調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う	45.8%	49.5%	47.4%			
3. 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり指標の結果は、「暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合」は、現状値と比べ1割の範囲ではあるが低下した結果となった。また、「公園・緑地、街路樹や水辺空間づくりに参加したことがある人の割合」は、ほぼ横ばいである。</li> <li>この結果は、公共事業によるハード整備の期間が中長期に渡ることや、事業が自分の住む身近な地域で行われた場合は数値に現れやすいことによるものと思われる。</li> </ul>						

#### 4. 「目標」と「みんなで目指すまちづくり指標」の適切性

##### 指標1) 暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合

<p>設定根拠</p>	<p>高度成長期より道路やライフライン等のインフラ整備が進み、市内の整備率は高い水準となっている。この道路やライフライン等のハード整備は、事業完了まで長い期間を要するが、平成29年度までに以下の事業の整備の完了が予定されているため、事業の効果を踏まえて、5%の上昇を目標値とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①一般国道419号高浜立体事業</li> <li>②国道419号 4車線化事業（刈谷・高浜工区）</li> <li>③市道港線視距改良及び歩道設置事業</li> <li>④下水道事業（汚水）の整備事業 （明治用水より南の市街地部分の完了予定）</li> <li>⑤論地どんぐり公園事業</li> </ul>
<p>指標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標を「道路やライフラインの整備・保全がなされ、快適に暮らせると感じている人の割合」に変更する。</li> <li>・「暮らしやすい環境」という表現は、生活していく上で多岐に渡るため、より具体的なものとする。</li> </ul>
<p>目標値の適切性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値は現状を継続する。</li> </ul>

##### 指標2) 公園・緑地、街路樹や水辺空間づくりに参加したことがある人の割合

<p>設定根拠</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の指標の実績値の推移を踏まえ、トレンドにより、4年後の平成29年度（2017）の目標値を、現状値から約3%上昇にプラス2%を見込み「32%」と設定する。プラス2%の考え方は、論地どんぐり公園や高浜緑地の整備に対するランドワーク等への参加人数増を考慮して目標値とした。 (H22: 25.6% ⇒ H24: 27.0% +1.4%)</li> </ul>
<p>指標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標を「公園・緑地や道路の植樹、水辺のみどりの保全・緑化を市民と共に推進することで地域の財産と思う人の割合」に変更する。</li> </ul>
<p>目標値の適切性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値は現状を継続する。</li> </ul>

## Ⅱ. 目標達成のための取り組み

### 1. 「こんなことに取り組みます！」を構成するアクションプラン一覧

こんなことに取り組みます！	アクションプラン事業名	
(1) 住環境やライフラインの整備など、都市空間の快適さや安全性、魅力を高める取り組みを進めます。	H26	【No.33】 公共下水道事業（污水） 【No.34】 水道事業
	H27	【No.32】 公共下水道事業（污水） 【No.33】 水道事業
	H28	【No.32】 公共下水道事業（污水） 【No.33】 水道事業
	H29	【No.30】 公共下水道事業（污水） 【No.31】 水道事業
(2) 安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えるとともに、公共交通の利用も促進します。	H26	【No.35】 いきいき号循環事業 【No.36】 市道港線整備事業 【No.37】 道路点検・保全事業
	H27	【No.34】 いきいき号循環事業 【No.35】 市道港線整備事業 【No.36】 道路点検・保全事業
	H28	【No.34】 いきいき号循環事業 【No.35】 市道港線整備事業 【No.36】 道路点検・保全事業
	H29	【No.32】 いきいき号循環事業 【No.33】 市道港線整備事業 【No.34】 道路点検・保全事業
(3) 公園・緑地、街路樹や水辺空間などを地域の財産としてとらえ、地域と連携しながら、特性を活かした憩いの場づくりを進めます。	H26	【No.38】 緑のあるまちづくり事業
	H27	【No.37】 緑のあるまちづくり事業
	H28	【No.37】 緑のあるまちづくり事業
	H29	【No.35】 緑のあるまちづくり事業

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(1)住環境やライフラインの整備など、都市空間の快適さや安全性、魅力を高める取り組みを進めます。		
アクションプラン事業名	H26～H29 公共下水道事業（汚水）水道事業	担当部・グループ	都市政策部 上下水道グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①配水管を耐震管に入れ替える工事を実施した。(新規埋設管、下水道工事区域等)		H26.4 ～H27.3
	②17.4haの区域で汚水管整備工事を実施した。 〔論地処理分区(向山町一丁目・五丁目・六丁目地内) 中部第1処理分区(神明町三丁目・四丁目地内)〕		H26.7～ H27.3
	③国庫補助による、配水管布設替工事計画の策定を進めた。		H26.9
平成27年度	①「汚水処理整備に関するアクションプラン」を策定した。		H27.12
	②平成27年度工事予定区域内の汚水管整備工事を完了した。		H28.3
	③配水管を耐震管に入れ替える工事を完了した。		H28.3
平成28年度 (見込)	①国庫補助金の交付申請手続きをした。		H28.4
	②昨年度の工事箇所における舗装復旧工事を発注した。		H28.6
	③平成29年度工事予定区域内の委託業務を発注した。		H28.6
	④平成28年度工事区域内の汚水整備工事を発注した。		H28.7
	⑤配水管を耐震管に入れ替える工事を発注した。		H28.7
	⑥県の補助事業による配水管耐震化工事を発注した。		H28.8
平成29年度 (予定)	①国庫補助金の交付申請手続き		H29.4
	②平成28年度の工事箇所における舗装復旧工事の発注		H29.7
	③平成30年度工事予定区域内の委託業務の発注		H29.7
	④平成29年度工事区域内の汚水整備工事の発注		H29.8
	⑤下水道事業公営企業会計移行に伴う委託業務の発注及び会計システムの導入		H29.7
	⑥配水管を耐震管に入れ替える。(新規埋設管、下水道工事区域等)		H30.3
	⑦配水場の老朽設備を更新する。(高浜配水場・吉浜配水場の電機設備更新)		H30.3
	⑧重要給水施設(災害時避難場所)への配水管を耐震管に入れ替える。		H30.3
	⑨給水車を購入する。		H30.3
「目標が達成された姿」の実現に向けての成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道事業では、計画した汚水管の整備により、川や海の水質保全、生活環境の改善が図られ、また、水道事業では、計画した耐震管の整備及び配水場の設備更新がされ、安心して安全な水道水を安定供給することが推進された。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の整備、更新には、多大な費用が必要となり、長期的な観点に立ち、整備を進めていくことが必要である。</li> </ul>		
特記事項			

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(2)安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えとともに、公共交通の利用も促進します。		
アクションプラン 事業名	H26～H29 いきいき号循環事業 市道港線整備事業 道路点検・保全事業	担当部・グループ	市民総合窓口センター 市民生活グループ 都市政策部 都市整備グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①いきいき号において、市内5コース40便、刈谷市コース9便を運行した。		H26.4～ H27.3
	②市道港線の整備において、横浜橋南工区の権利者との交渉を行った。		H26.4～ H27.3
	③路面状態や道路付属物（照明灯）・橋梁の安全性等の点検を行い、次年度以降の舗装修繕計画を策定したほか、付属物のうち緊急性の高いものは前倒しの修繕を行った。		H26.6～ H27.3
平成27年度	①いきいき号の平成27年度末利用者27,824人 対前年比 Δ6.9%		—
	②市道港線整備に伴い、横浜橋南工区の地権者と用地・物件補償の交渉を実施した。		H27.4～ H28.3
	③道路の各種工事（舗装補修、照明灯等の取替工事など）を行った。		H27.4～ H28.3
平成28年度	①運行指針に基づき、いきいき号を運行した。		通年
	②健康自生地との連携を図り、利便性の向上に努めた。		H28.6～
	③高浜市地域公共交通会議を開催し、市内コースのバス停と刈谷市コースと市内コースの乗り継ぎの利便性を一部改善した。		H28.10～
	④横浜橋南工区の地権者と用地・物件補償の交渉を実施した。		随時
	⑤測量設計業務の管理監督・地元調整した。		H28.4～9
	⑥愛知県へ補助金申請並びに要望を行った。		H28.4～9
	⑦舗装修繕実施路線の実施設計の委託を行った。		H28.4～9
	⑧舗装修繕工事（市道葭池線）の一部工事を実施した。		H28.4～9
	⑨各種工事（舗装補修、照明灯等の取替工事など）を行った。		随時
	⑩橋りょう（清吉橋）の修繕工事を完了した。（繰越）		H28.7
平成29年度 (予定)	①運行方針に基づき、いきいき号を運行する。（市内コース、刈谷市コース）		H29.4～
	②高浜市地域公共交通会議において、利便性向上等の諸課題を協議する。		H29.10
	③横浜橋南工区地権者との用地交渉を進める。		H30.3
	④愛知県へ補助金の申請並びに要望を進める。		H30.3
	⑤田戸町五丁目1番地付近の区間から交差点までの歩道設置を完了に物件補償と用地取得を進める。		H30.3
	⑥舗装修繕計画に沿った、優先順位の高い路線から舗装修繕工事を進める。		H30.3
	⑦愛知県を通じて、国へ交付金申請並びに要望を進める。		H30.3
	⑧道路橋の法定点検を受けた、施設の健全度並びに劣化状況を経過観察する。		H30.3

<p>「目標が達成された姿」の実現に向けての成果・課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市道港線のだるま窯付近の見通しの悪い区間の歩道設置が完了した。</li> <li>道路の長寿命化に取組み、市内の幹線道路について舗装修繕を進めた。</li> <li>いきいき号の運営について、刈谷市コースの新設や、市内コースのバス停との乗り継ぎの利便性を一部改善したことにより、利用者増が図られた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路等の公共事業によるハード整備は、中長期的な取組みが必要であることから、短期間で成果が見えづらく指標等の設定を考慮していく。</li> </ul>
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期より取組目標を、「道路利用者が、安全・安心に移動できるよう道路を保全、整備します。」として、社会問題である道路や橋りょうの長寿命化に特化した取組を進めていくこととする。</li> </ul>

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(3)公園・緑地、街路樹や水辺空間などを地域の財産としてとらえ、地域と連携しながら、特性を活かした憩いの場づくりを進めます。		
アクションプラン 事業名	H26～H29 緑のあるまちづくり事業	担当部・グループ	都市政策部 都市整備グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①NPO 団体等と連携を図り、公園・緑地・街路樹等の保全活動を実施した。		H26.4～ H27.3
	②(仮称) 論地どんぐり公園整備について、まちづくりトーク&トーク並びにワークショップを実施し、地域住民との意見交換を行った。		H26.8 H26.11
	③(仮称) 論地どんぐり公園第1期工事の繰越工事を竣工させた。		H26.9
平成27年度	①防災機能を備えた論地どんぐり公園の工事が完了し、供用開始が出来た。		H27.8
	②公園・緑地、街路樹や水辺保全に関するまち協やNPO 団体等の行事に参加し、活動を支援した。		H27.4～ H28.3
	③愛・道路パートナーシップへの支援を行った。		H27.4～ H28.3
平成28年度	①公園施設長寿命化修繕計画の委託を契約し、打合せを実施し計画策定の検討をした。		～H29.3
	②まち協やNPO 団体等の行事に参加し、活動を支援した。		随時
	③愛道路パートナーシップへの支援をした。		随時
平成29年度 (予定)	①公園長寿命化修繕計画の結果から必要な修繕計画に取り掛かる。		通年
	②継続してまち協やNPO 団体等の行事に参加し、活動を支援する。		通年
	③愛道路パートナーシップへの支援を引き続き行う。		通年
「目標が達成された姿」の実現に向けての 成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園長寿命化修繕計画の策定が出来た。</li> <li>防災機能を備えた論地どんぐり公園の工事が完了した。</li> <li>地域が主体となって維持管理を進める都市公園「さわたり夢広場」の周年記念イベントを盛大に開催することが出来た。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園長寿命化修繕計画を進めるにあたり、施設の老朽化が著しいものがあり、早期に改修等を進める事が必要となった。</li> <li>ボランティア、NPO 団体に参加する方の高齢化が進んでいる。</li> </ul>		
特記事項			



### Ⅲ. 今後の取り組みの方向性

#### 1. 今後予想される社会変化や動向、新たな課題

- 道路や橋りょうの長寿命化を実施するにあたり、補助金の交付決定額が減少してきており、事業進捗を遅らせる必要が生じる可能性がある。

#### 2. 今後、特に力を入れる取り組み（優先度の高いもの3つ）

##### （1）既存の道路等やライフラインの長寿命化を推し進める。

- 道路等の公共インフラ施設の点検・修繕を実施し、長寿命化を図り安心して安全な住生活を支えていく。

##### （2）水道施設近代化事業の一環として、災害時でも安心して水が供給できるようにする。

- 重要給水施設（災害時避難所）へ水道を供給する配水管を耐震管に布設替えを進めていく。

##### （3）国、県等との連携を図り、補助金の確保を図る。

- 事業の推進を進める上で、市の財政負担を軽減するため、国や県等の補助金の確保に努める。

### Ⅳ. 施策(目標)構成の検証

- 目標8について、現状維持として都市基盤に関する施策を中心に事業を進めていくこととする。
- その中で、公共施設あり方計画推進の「公共施設総合管理計画」に沿ったものとして、今後は適時見直しを進めていく。